

## ネパール国におけるヘリコプター墜落事故について

標記につきまして、本学の卒業生で組織されている「神奈川大学学士山岳会」の関係者から以下のような連絡を受けておりますので、ご報告申し上げます。

同山岳会は、本学創立90周年記念の海外遠征として、山岳部の現役のメンバーとともに、ヒマラヤ山脈のマナスル登頂を目指しておりました。

ところが、ベースキャンプに向かう途中で、隊員の一人で、1975年に本学工学部電気工学科を卒業された小松広美さんが体調不良を訴え、治療が必要であると判断されたため、同国の9月8日午前7時30分に、ヘリコプターで同国の首都であるカトマンズに向かいました。

その後、同日午後5時頃に現地警察及び在ネパール日本大使館からヘリコプターが墜落し、邦人が亡くなったとの一報を受けました。そのため、身元確認などのために、同山岳会の名誉隊長が収容先の病院に向かっております。

本学におきましては、引き続き情報収集に努めるとともに、適時かつ適切な対応を行っていく所存です。

この度の事態への対応について賜りましたネパール連邦民主共和国政府及び日本国政府をはじめとする関係各位のご協力とご支援に対しまして、深く感謝を申し上げます。

2018年9月9日  
神奈川大学長 兼子良夫